

未来を拓く豊かな心と力を育む体験活動の創造

福岡県粕屋町教育委員会

はじめに

体験によって人はまた新たな対象と関わるための(土台)を得る。子どもの心を豊かにし、力を育てるために体験を欠くことはできない。しかし、子どもの周囲からは、体験の場がますます失われている。そうした中、より豊かな体験のためには学校や地域が持っている教育的な機能を相互に関連させながら、一貫性のある取り組みを進めることが大切である。

1 めざす子ども像

子どもが身に付ける「未来を拓く豊かな心と力」は次に挙げる3つの心と2つの力で構成されているととらえる。

心

他人を思いやる心
美しいものに素直に感動する心
他者とのよりよい共生や社会貢献をしようとする心

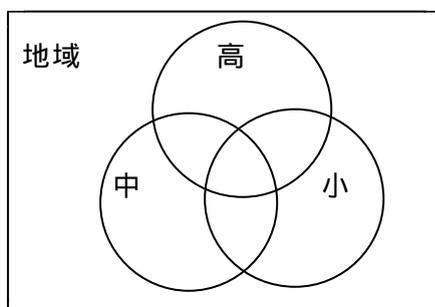
力

自ら課題解決をする力
(計画立案力、実践力、コミュニケーション能力、表現力、情報収集、活用能力等)
他者と協力して、最後までやり遂げる力

2 めざす子ども像を実現させるための方途

めざす子ども像を実現させるための体験活動については、次のようなことを重点課題にして取り組む。

(1) 体験活動を展開する連携の在り方を確立する



地域だけの体験活動

高等学校と地域が連携した体験活動

中学校と地域が連携した体験活動

小学校と地域が連携した体験活動

高等学校、中学校と地域が連携した体験活動

高等学校、小学校と地域が連携した体験活動

小学校、中学校と地域が連携した体験活動

すべての学校、地域が連携した体験活動

(2) 体験活動を位置づけた教育課程を編成する

(3) 体験活動を重視して人的、物的環境を整えた授業改善を行っていく

3 事業の目的

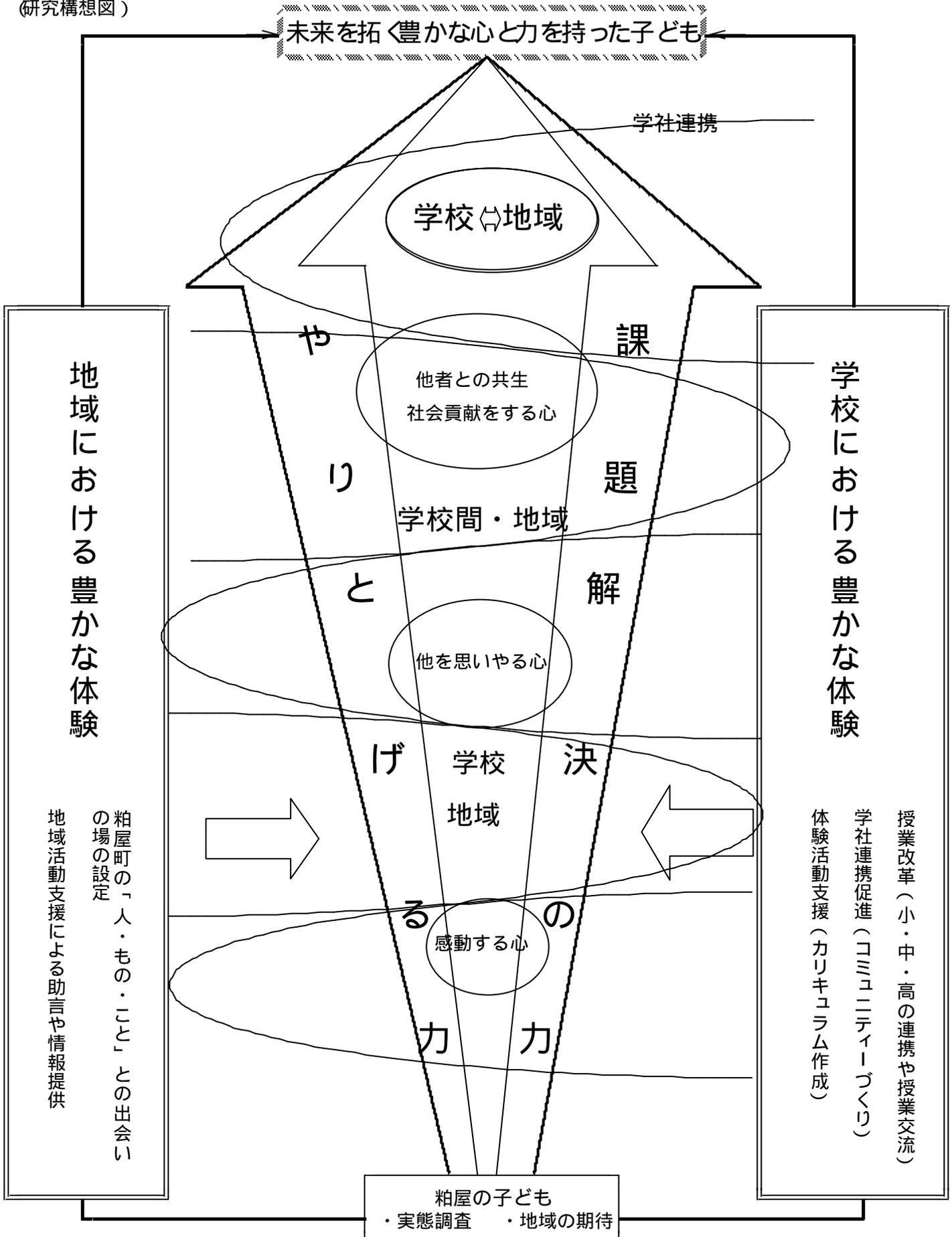
未来を拓く児童・生徒の豊かな心と力を育む体験活動の在り方について、下記の内容を明らかにする。

関係機関・団体・他の学校との効果的な連携の在り方

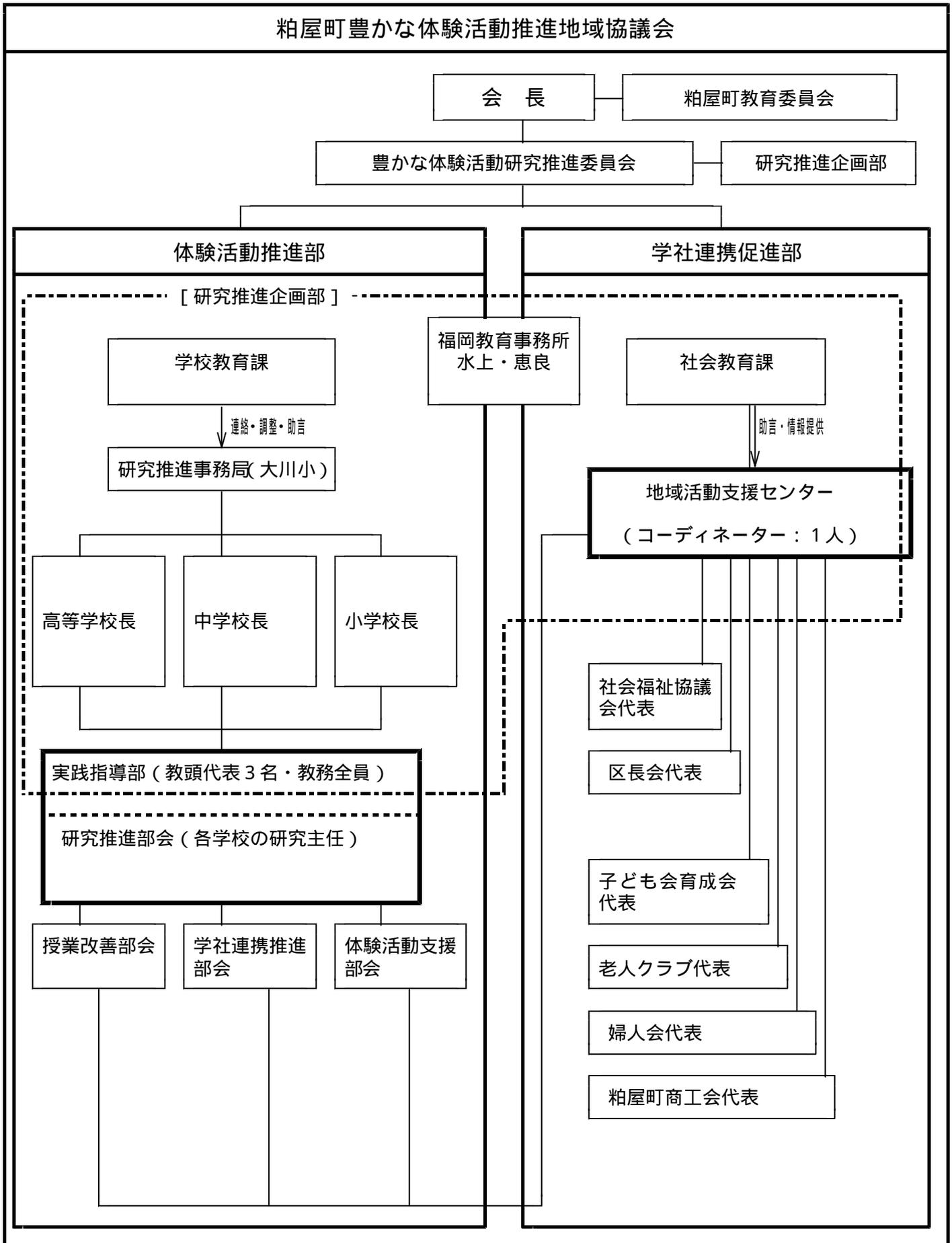
教育課程への適切な位置づけ方(体験活動を重視した授業改善の在り方)

校内推進体制の在り方

4 研究構想
(研究構想図)



5 全体の推進体制



6 本年度の体験活動推進部の基本的な構想

授業改善部会...豊かな体験活動の開発と定着をめざす実践

子どもの「未来を拓く豊かな心と力」についての共通の認識をもち、取り組みを学校の教育目標に据える。

豊かな体験活動にかかわる具体的な分掌を校内組織に位置づける。

体験活動と子どもの生活との関わりを考え、授業構築を図る。

各学校間の授業交流を含んだ体験交流する場の確立を図る。

学社連携推進部会...地域教育の充実と整備

学校・地域が一体となって、地域の教育の在り方を考えていく。地域におけるさまざまな人・もの・こととの出会いの場や機会を創造し、互いに学び合う関係を構築する。

学校内での取組の充実と学校間交流の推進を図る。

地域の人々とのつながりをめざしたコミュニティづくりを推進する。

連携の充実・
協働への
意識の転換

体験活動支援部会...豊かな体験活動の充実・支援

体験活動がスムーズに展開できるように、支援する。そのためには、各学校が教育課程に体験活動を位置付けるためのカリキュラムモデル・資料ソフト・地域人材資料等を準備する。

事業を学校や地域に啓発するパンフレット等の作成をする。

7 学社連携促進部の組織作りについて

- (1) 今行っている事業の把握をし、各学校に向けた情報の内容・今後発信する予定の内容を整理する。

地域における体験活動の調査・吟味を行い、小・中・高が連携して実施する『豊かな体験活動』を推進する。

- (2) 地域活動支援センター（コーディネーター）の役割の明確化を図る。

本事業や協議会の目的について理解を深め、地域の人々に本事業の意義や必要性の伝達をいろいろな活動場面を通して、継続的に行う。

地域における個人・学校・団体等からの活動希望に対する相談やアドバイス等を積極的に取り入れ、体験活動がより豊かになるように地域側に発信する。

多くの知恵や技能・特技等を持った人たちの把握を行い、それを情報として発信したり受信したりして、各団体間の連絡・調整役（パイプ役）を担う。

- (3) 社会教育課と地域活動支援センター（コーディネーター）との関係を明確にする。

社会教育課は、地域活動支援センター（コーディネーター）に対して、助言・情報提供等を積極的に行う。

社会教育課と諸団体との関係を明確にし、関係強化を図る。

社会教育課は、諸団体との連絡を密に行い、有効な情報を地域活動支援センター（コーディネーター）に提供したり活用したりして、学社連携の充実・強化を図る。